

未来社会創造事業 探索加速型探索研究
事後評価結果

1. 領域

「世界一の安全・安心社会の実現」領域

2. 重点公募テーマ

食・運動・睡眠等日常行動の作用機序解明に基づくセルフマネジメント

3. 研究開発課題名

高齢社会を支える若年成人の生活習慣リスク

4. 研究開発代表者名(機関名・役職は評価時点)

藤原 浩(金沢大学 医薬保健研究域医学系 教授)

5. 評価結果

評点: A (優れている)

総評:

本研究開発課題は、思春期から若年成人期の不適切な生活習慣が成人期の健康や社会行動に与える影響を検討し、適切な生活習慣のセルフマネジメントを促進するガイドラインの提言を目指すものである。

探索研究において、空腹リズム異常が生殖機能障害を誘導し、その機序への時計遺伝子の関与を実証したことを評価する。

また、空腹ストレスが生殖機能に与える影響の検討については、動物実験による医学的研究だけでなく、ヒトを対象にしたアンケート調査も着実に進められ、優れた成果が認められた。

今後は、予防医学的観点だけでなく、生活習慣によって影響を受けた健康状態の改善など、研究成果の臨床応用に向けて研究開発が発展すること期待する。

以上